

# 専門医認定支援事業 実績報告書

奈良県版

“All Nara” 総合診療専門医養成プログラム

地方独立行政法人

奈良県立病院機構

## 内容

年度目標の設定.....	3
会議履歴 .....	3
アクション・プランとその進捗.....	6
2015年度目標とタイムライン .....	8
資料 .....	9

## 年度目標の設定

補助金獲得後、3月末時点の達成目標を下記と設定しました

1. プロジェクトの（Vision/Goal/Mission）の改善・設定
2. プロジェクトの（Goal/Mission）達成に向け、（緊急&重要）なアクション・プランを設定して遂行する

## 会議履歴

対話を介し、上記1 & 2を達成するアクション・プランを探りました

- **拡大全体会議**（2014年12月4日、資料①）
  - 目標：プロジェクトの（Vision/Goal/Mission）の改善・設定
  - 成果
    - ◇ Vision（理念）：修正する必要なし
    - ◇ Goal（目的）を特定するために、SWOT分析を介し、県の家庭医療・総合診療の現状を俯瞰しつつ県の家庭医療・総合診療の本質的な弱点を特定
      - **奈良県の家庭医療・総合診療を企画・調整する**仕組み**がない**
        - 診療所における一人診療や専攻医教育を、同僚の家庭医・総合診療医が支援する**仕組み**がない
        - 開業医による在宅診療を、県下の同僚医師が支援する**仕組み**がない
        - 家庭医・総合診療医による多様なキャリア選択を支援する**仕組み**がない
        - 家庭医・総合診療医の本質を臓器別専門医や開業医に理解させる**仕組み**がない
        - 病院の臓器別専門医は、高齢者が望む支援を提供できない
      - **教育施設での専攻医教育を支援する**仕組み**がない**
        - 病院の総合診療では“地域を診る”研修を提供しづらい
        - 家庭医・総合診療医の指導医の教育力量を、維持・向上する**仕組み**がない

# 専門医認定支援事業実績報告書

2015年3月27日\_08版

- **若手会議**（2015年1月5日&2月6日、資料②、③）
  - 目標：Goal（目的）の設定
  - 成果
    - ◇ Goal（目的）を特定するために、SWOT分析（12月4日）を踏まえ、県の家庭医療・総合診療の本質的課題を特定
      - **県医師組織は、家庭医療・総合診療を自律的に運営する奈良県の仕組み（システム）を確立していない**
    - ◇ プロジェクトが達成すべき「本質的課題の解決（=Goal）」に合意する
      - 「家庭医・総合診療医が、県下の総合診療を自律的に運営すること
    - ◇ 奈良県の家庭医療の弱点を軽減するアクション・プランを合意する
      - 「家庭医・総合診療医」像を県民・医療者に的確に広報する
      - 「家庭医・総合診療医」のキャリア・プランを描き出す
  
- **全体会議**（2015年3月4日、資料④）
  - 目標
    - ◇ 3月末までのアクション・プランを合意する
    - ◇ 4月以後の、長期的アクション・プランを合意する
  - 成果
    - ◇ 3月末までのアクション・プラン
      - **All Nara版総合医育成プログラムの改善**
        - Program Drafting Teamを創り、ドラフトを改善
      - **葛西先生のインプットを得る**
        - 葛西龍樹先生講演会（3月14日）
        - 葛西教授（福島県立医大 地域・家庭医療学講座）チームによる家庭医専攻医育成を視察（3月20日&21日）
      - **事業報告書を作成して、提出**
    - ◇ 4月以後の、長期的アクション・プラン
      - 「本質的課題を解決」するためにプロジェクトが達成すべきこと（=Mission）に合意する
        - 「家庭医・総合診療医が、県下の家庭医療・総合診療を自律的に運営するためのシステムを創る」こと（資料⑤）
          - ◇ Steering Team: 奈良県版総合診療医育成プログラムの運営を支援する、中立・公正な専門組織

# 専門医認定支援事業実績報告書

---

2015年3月27日\_08版

- ◇ Management Team: 奈良県版総合診療医育成プログラムに沿って専攻医を育成する組織

## アクション・プランとその進捗

進行中のアクション・プランの進捗概要を下記に略記します

### ● 家庭医育成のエキスパートに耳を傾ける

- 具体的にどのようにしてプログラムや教育機構を構築していくべきか？（2015年3月14日、資料⑥、⑦）
  - ◇ プログラムは、地域の実情に合わせて作ってください
  - ◇ スキーができるようになるために、スキー場に行って、スキーのインストラクターから習ってください
  - ◇ カリキュラムには、本質的な目的が4つあります
  - ◇ 家庭医療の根幹は、Be there! です：家庭医として、地域の中に；指導医として、専攻医の許に；統括責任者として、指導医の許に
  - ◇ プログラムの指導者は、高い水準の心を備えねばなりません
  - ◇ 専攻医の教育環境を人間的規模に保ってください
  - ◇ 臓器別専門医は家庭医とは全く異なる医師です
- 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座によるプログラム実践の視察（2015年3月20日&21日、資料⑧）
- 草場鉄周先生との対話（2015年6月27日予定）

### ● ALL Naraプロジェクト文書を改善する

- 下記項目を追記
  - ◇ プロジェクトの目的（Goal）
    - 「奈良県の家庭医・総合診療医が県の家庭医療・総合診療を自律的に運営する」 こと
  - ◇ プロジェクトの任務（Mission）
    - 「家庭医・総合診療医が県下の家庭医療・総合診療を自律的に運営するためのシステムを創る」 こと
- 家庭医育成のための実施要件（葛西先生）を満たす

### ● 「家庭医・総合診療医」像を県民・医療者に的確に広報する

- 葛西龍樹先生講演会でのALL Naraプロジェクト・プレゼンテーション（資料⑨）
- 奈良県版総合診療専門医育成プロジェクト（All Nara Project）プロモーションビデオファイルを作成し、Project Facebook（非公開グループ）にて広報

# 専門医認定支援事業実績報告書

---

2015年3月27日\_08版

- Facebook および Cybozu サイト をプロジェクトメンバー間で共有

## 2015年度目標とタイムライン 案

- All Nara Project Management Team
  - 施設群：（基幹・連携）施設を合意する（5月末）
  - 統括責任者：合意する（5月末）
  - 運営母体を超えて連携するための規則：合意する（6月末）
  
- All Nara 版総合診療医育成プログラム
  - プログラム文書：完成する（9月末）
  
- All Nara Project Steering Team
  - 体制&機能：企画する（9月末）
  - 家庭医・総合診療医のキャリア・プラン：特定し、支援策を企画（9月末）
  - 県民の家庭医療・総合診療に対する期待：調査を介して特定（9月末）
  - 奈良県の家庭医療・総合診療：ビジョン・ゴールを特定（9月末）
  
- ALL Naraプロジェクト広報
  - 草場鉄周先生との対話（2015年6月27日予定）
    - ◇ プロジェクト・プレゼンテーション
  - プロジェクトホームページの作成



## 資料

1. 「奈良県を挙げて家庭医・総合診療医を育成する」ことのSWOT分析



資料①

2. 若手会議 議事録（2015年1月5日、大福診療所にて）



資料②

3. 若手会議 議事録（2015年2月6日、スカイプ会議）



資料③

4. 全体会議 議事録（2015年3月4日、西大寺にて）



資料④

5. 家庭医・総合診療医が県下の家庭医療・総合診療を自律的に運営するためのシステム案



資料⑤

6. 葛西龍樹医師 講演資料（2015年3月14日）



資料⑥

7. 葛西龍樹医師 講演メッセージ一覧



資料⑦

8. 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座による家庭医専攻医育成プログラム実践の視察報告（2015年3月20日、21日）



資料⑧

# 専門医認定支援事業実績報告書

---

2015年3月27日\_08版

## 9. ALL Nara プロジェクト・プレゼンテーション (2015年3月14日)

